

# 校長室だより



令和4年5月26日

校長 齋藤 瑞穂

## おめでとう！93歳！！ ～5月20日は杉七小開校記念日でした～

先週せんしゅうの金曜日きんようび、5月20日は、杉七小の93回目の開校記念日でした。23日の全校朝会では、「杉七小歴史クイズ」を出しましたね。全問正解はなかなか難しかったようなので、今回の校長室だよりでは、開校から現在の校歌誕生までの歴史を振り返ってみましょう。

1929年（昭和4年）、杉並第一小学校から分かれてこの地に誕生した杉並第七小学校。開校当時の名前は「杉並第七尋常小学校」でした。

開校の日、子供たちは杉一小から歩いてここまで引っ越してきました。児童数702名、14学級でのスタートでした。



しかし、開校の喜びもつかの間、この頃の日本は世界大戦へとつき進んでいて、子供たちの生活もだんだんと不自由なものになっていきます。1941年（昭和16年）になると、学校の名は「杉並第七国民学校」になり、子供たちが楽しみにしていた修学旅行も中止、学習よりも防空訓練や軍事訓練などに多くの時間がかけられるようになってきました。



戦争によって人々の生活がガラッと変わってしまうのは、今も昔も同じです。

1945年（昭和20年）8月、長かった戦争が終わった直後の杉七小は、全校児童数44名。杉七小の児童数の最少記録です。その後、戦火から逃れて阿佐ヶ谷を離れていた子供たちがだんだんもどってきて、杉七小も少しずつ活を取りもどしていきます。



そして、開校25周年となる1954年（昭和29年）、それを記念して現在の校歌ができました。

作曲は安西愛子さん。杉七小の初代校長安西庫司先生の娘さんで第1回卒業生、当時大変有名な歌手でした。記念式典ではその安西さんが来校し、在校生といっしょに校歌を歌うという楽しいイベントもあったそうです。当時の児童数はなんと1213名24学級！ひとクラスの人数は50名以上で、教室にはびっしり机が並び、先生が机の間を歩くこともできないほどだったとか。そんな教室の様子をみなさんは想像できますか？



さて、しっかり復習できたかな？杉七小100周年は2029年。みなさんはその頃、どこで何をしています。どこにいても何をしていますが、記念の日にはまた杉七小に集まって、友達や先生と思い出話ができるとすてきですね。

### 保護者の皆様

杉七小は今年開校93周年。100周年まであと7年です。その時6年生は19歳、1年生は14歳。記念行事に参加するために、元気に戻ってきてくれたらうれしいです。いつでも「心のふるさと杉七小」であるために、日々の教育活動を充実させていきます。

とうくばこ  
投句箱より

つゆがきて アジサイ見たいな まってるよ  
3年 さの たいき さん

先週は雨が降ったりやんだりの日が続きました。5月も半ばなのにもう梅雨入り？と、がっかりした人がたくさんいたようでしたが、そんな梅雨の時期の楽しみを教えてくれるすてきな作品が届きました。

梅雨の頃ひとときわ  
美しくなるアジサイ。  
杉七小にも何種類か植わっていますね。じめじめしてう  
つとうしい時期だから



らこそ、アジサイのさわやかな色やきりっとしたすがたが見たいなあ、待ってるよ、という佐野さんの気持ち、よくわかります。

季語は「つゆ」「アジサイ」で季節は夏です。  
人は、校長先生まで知らせてください。